

平成 25 年 1 月 17 日

ライフサイエンスデータベース統合推進事業の進捗と今後の方向性について

文部科学省研究振興局
ライフサイエンス課

1. バイオサイエンスデータベースセンター設置から現在までの進捗状況（第一段階）

ライフサイエンス分野における我が国の恒久的かつ一元的な統合データベースの在り方については、平成 21 年 5 月に、総合科学技術会議ライフサイエンス PT により「統合データベースタスクフォース報告書」にとりまとめられており、これを受けて、平成 23 年 4 月に、独立行政法人科学技術振興機構（JST）にバイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）が設置され、ライフサイエンスデータベース統合推進事業を推進している。

これまで、4 省合同ポータルサイト*の開設、科学研究費補助金等により構築されたデータベース（DB）の公開促進（募集要項にデータ提供協力記載）、人体に由来するデータ共有のためのガイドラインの検討（平成 24 年度中に策定予定）を実施。また、DB 統合化に向けた基盤技術の研究開発等を実施し、各研究分野におけるデータベースの統合を推進している。

*文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省の 4 省合同のポータルサイトを構築・運用。生命科学系 DB に関する様々なサービスを提供している。月間利用者数 約 9 万人、月間ページビュー 約 230 万（2011 年の最大値）

- ・総合目録である「生命科学系 DB カタログ」（約 1,200 件）（ ）内は登録件数。
- ・複数の DB を一度に検索できる「生命科学 DB 横断検索」（約 330 件）
- ・DB 単位でダウンロードが可能な「生命科学系 DB アーカイブ」（約 60 件）

2. 平成 26 年度以降（第二段階）の事業の方向性

上記の内容について、引き続き NBDC が中心となって現行体制で推進するとともに、以下についても新たに取り組む予定。

1) 人材育成

バイオインフォマティクス人材育成推進ネットワーク（仮称）の推進

2) データ量の飛躍的増大への対応

ゲノムコホート研究等との連携

3) JST 情報事業との連携強化

文献 DB、研究者情報 DB との連携

4) 既存の取組の更なる展開

合同ポータルサイトの 4 省を超えた連携、データ及びデータベースの提供を受ける対象事業の拡大、海外関連機関との連携の検討など

あわせて、これらの取組に必要な体制の整備を検討していく。

なお、本事業は、ライフサイエンス分野におけるオールジャパン体制で推進していくことが望まれるため、事業の実施に当たっては、総合科学技術会議の場を使って、関係府省と事業の進捗について情報共有を行う。